

情勢報告（平成27年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

J A土佐れいほく園芸部カラーピーマン部会の現地検討会を行いました



定植状況について熱い議論が交わされました。

カラーピーマン部会の現地検討会を4月15日に行い、生産者は13名の参加がありました。検討会では、まず現地検討としてゆとりファームのハウスを利用し、定植後ピーマンの生育状況や今後の管理などについて、検討を行いました。その後、講習等をJ A大田口支所で行いました。

普及所は現地検討では定植直後のピーマンの生育状況やその後の管理、分枝した枝の整枝方法などについて、助言指導を行いました。あわせて、講習会では定植前後の管理やその後の整枝誘引や灌水・追肥方法などの栽培管理について講習を行いました。

嶺北では夏秋栽培が主体で4～5月にかけてカラーピーマン類やシシトウ、米ナスの定植が行われています。今後の活動としては、現地検討会や現地巡回により定植前後の管理や初期の栽培管理などについて、助言指導を行います。

ミシマサイコの出芽が始まりました



良好な発芽をしたミシマサイコ

4月14日に本山町で、今年度よりミシマサイコ栽培を始められたほ場において、出芽状況の確認を行いました。

2月28日に播種したものは3月31日の出芽を皮切りに、新芽が筋のように見えるまでになっていました。また、3月24日～26日に播種したものについても、一部のほ場で出芽が認められました。

嶺北管内では大豊町・本山町に加え、今年より土佐町でも試験的にミシマサイコの栽培がスタートしています。

普及所では、今後も巡回や講習会を通じて薬草栽培の振興を支援していきます。

穴内あけぼの会のブランド米の検討



ブランド米に向けて結束を！

穴内あけぼの会では4月11日に今年の活動としてブランド米の取り組みについて検討しました。今回は3月にブランド米の研修を受けてのメンバーの考えを確認する会でした。普及所からは自分達で目標を決めて進めていくことが重要であることを説明し、出席者からは理解が得られました。しかし、欠席者も多く、今後の方向性が決定できませんでした。そのため今回の欠席者にも声をかけ、5月28日に会を開催し、共通認識のもとに方向性を決定していくことになりました。

これからも普及所は集落営農組織の活動について支援していきます。